

・雇用基調とFRBの利上げペース

米雇用統計10月7日金曜日21:30発表

9月失業率予想:3.7%

9月非農業部門雇用者数予想 : +26.4万人

9月平均時給 (前月比) 予想 : 0.3%



	5月	6月	7月	8月
非農業部門 雇用者数	+39万人	+37.2万人	+52.8万人	31.5万人
失業率	3.6%	3.6%	3.5%	3.7%
労働参加率	62.3%	62.2%	62.2%	62.4%
平均時給 (前月比)	+0.3%	+0.3%	+0.5%	+0.3%

・雇用基調とFRBの利上げペース



直近のFRB幹部の発言

「金融引き締めが需要を減速させ、インフレ圧力は低下し始めてるが、我々の仕事は終わってない」(NY連銀ウィリアムズ総裁 10/3)

「近年のパターン以上に金融引き締めサイクルが必要となる可能性がある」(リッチモンド地区連銀バーキン総裁 10/3)

「物価安定回復には時間が掛かり、トレンド下回る成長期間を伴う公算大きい」(ジェファーソン理事 10/4)

「インフレとの戦いはまだ序盤である可能性が高い」(アトランタ地区連銀ボスティック総裁 10/5)

米国のインフレ率は「根強く、容認できない高水準にある」(クック理事 10/5)

「FRBはインフレ抑制に向け断固として利上げ継続という認識」(SF地区連銀デイリー総裁 10/5)

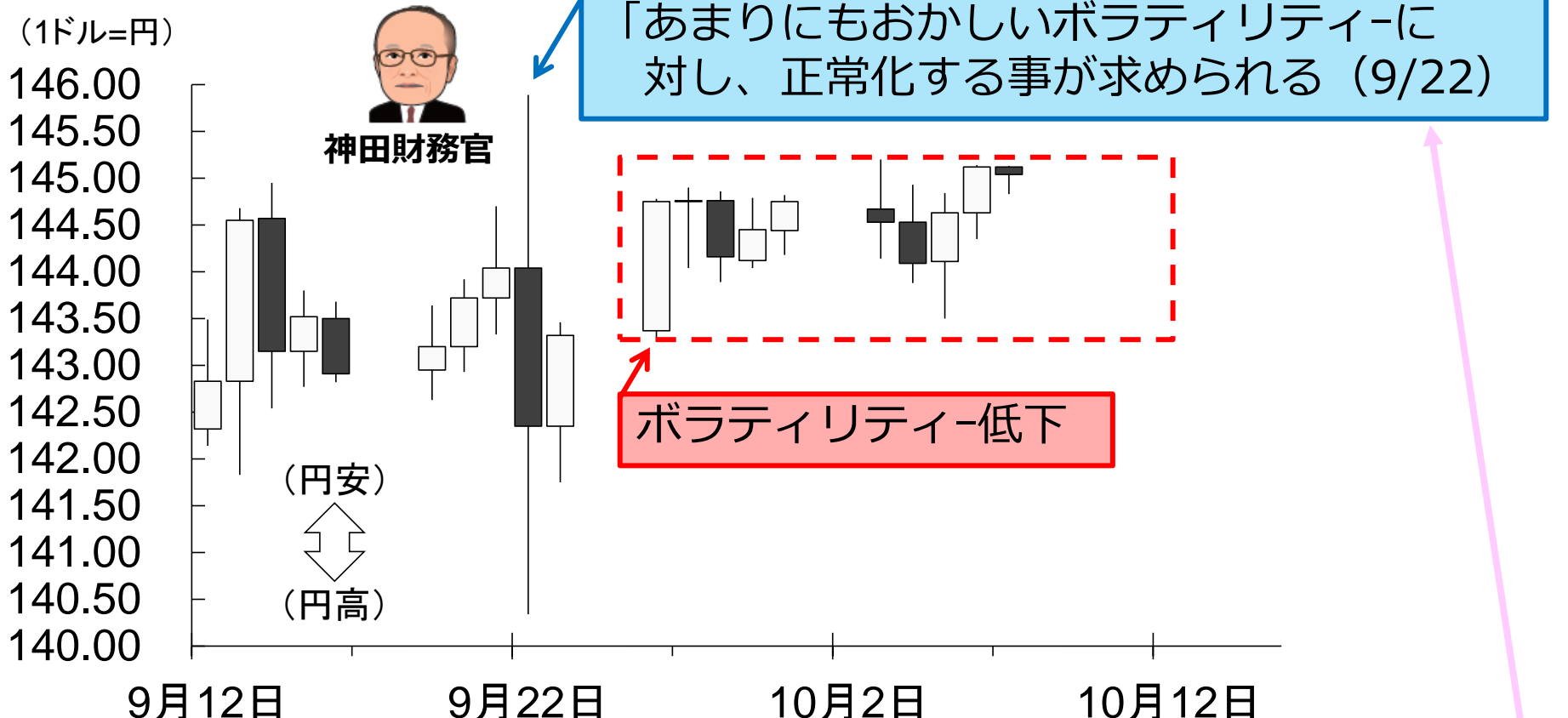
「積極的な利上げを一時停止するのは、かなり先」(ミネアポリス連銀カシュカリ総裁 10/6)

現行で3.00—3.25%の政策金利は23年春までに4.5—4.75%に向かうだろう、今後2回のFOMCで合計1.25%の利上げが実施されるだろう
(米シカゴ地区連銀エバンス総裁は 10/6)

「根強いインフレを抑制するまで、来年初めにかけて利上げを継続する必要がある」(ウォラー理事 10/6)

「為替介入」は成功したのか

急激なドル高円安は抑制された



(財務省が9月30日に発表した外国為替平衡操作の実施状況から9月22日の外国為替平衡操作(ドル売り円買いの介入額)は2兆8,382億円と推測されている)

米財務省「このところ高まっている円のボラティリティ-を下げることを目的とした行動だったと理解」(9/22)

・日米3連休前での深追い注意

スポーツの日&コロンブス・デー



1ドル=144円台前半から半ばの堅調程度に注目

ドル円相場（時間足チャート）

(1ドル=円)



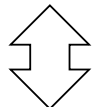
急変動時は「為替介入」警戒

過度な変動場面では威信を賭けて介入の可能性

(1ドル=円)



(円安)



(円高)

日銀としては低金利政策を続ける姿勢を示す一方で、為替介入は過度な変動に対する必要な対応で適切であるとの考え。ポリシーミクス (9/26)



長方形(レクタングル)トレンド継続中